

令和5年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	21	学校名	静岡県立沼津工業高等学校	記載者	望月 保宏
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	安心安全な学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に気を付けていると答える生徒 100% 交通事故件数前年度比50%削減 	C	C	<p>高校入学時から自転車通学を始める生徒も多く、運転に不慣れなこともあり、事故が発生しているかもしれない。</p> <p>交通事故は交通量等にも左右され、仕方のない部分はある。その上で、R5年度入学生からのヘルメット着用（努力義務）などの取組は評価できる。</p> <p>事故件数が前年よりも増加しているの、何らかの対策をとってほしい。</p> <p>自転車指導件数の増減がわかるとよい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 地域防災訓練への参加率60%以上 	C	C	<p>通学途上で災害が発生する可能性もある。その際、どこに避難する等の危険回避訓練も必要ではないか。</p> <p>小中学生は参加率が高いので、おそらく「高校生は不参加でも可」という間違った認識が生徒間にあるのではないか。再度参加しなければいけないという意識を持たせる必要がある。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 清掃活動に積極的に取り組んでいると答える生徒 90%以上 	A	A	<p>ゴミの持ち帰り等は周知されているようで、よいと思う。</p> <p>3S（清掃・整理・整頓）を行うことで安全面・衛生面の効果が出ることを指導し、当たり前の行動にしていく必要がある。</p>
イ	規範意識や人権意識等を醸成する。	<ul style="list-style-type: none"> ピアサポート研修の実施 信頼できる先生がいると答える生徒 70%以上 	A	A	<p>信頼できる先生が今後も増えるように期待します。</p> <p>先生への信頼が、自分の将来への希望へも繋がるので、相談がしやすいかどうかを示す信頼教員の割合が高いのは重要</p> <p>多様な生徒を指導していくために、教員も多様な人材が必要</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 主権者教育、消費者教育等副教材を活用した授業、講話の実施 SNSに関連するトラブル件数 0件 	A	A	<p>成年年齢が引き下げられたことに伴い、3年生は成人となったことから、消費者教育、選挙に関する意識啓発教育は、ますます重要になってくると思います。</p> <p>外部の講話は、振り込め詐欺などに関わる、安易なバイト感覚の怖さなどについて扱うとよいでしょう。</p> <p>成年年齢引き下げについては、18歳で保護者の同意なく契約行為ができてしまうリスクを生徒へ確実に指導願いたい。</p>

					具体的なSNS不正利用対策があるとよい。
ウ	基本的な生活習慣の確立、並びにたくましく生きるための健康や体力の増進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席者、遅刻者数の削減（前年度比 20%減） ・服装・頭髮など身だしなみに気を付けていると答える生徒90%以上 	B	B	<p>社会人としての基本となることであり、生徒の将来のことを考えると、もう少し評価が上がるよう努力してほしい。</p> <p>遅刻については、目標達成に向けて現状を生徒にも可視化させて呼びかけたい。</p> <p>早退者についても目標設定に入れてほしい。</p> <p>身だしなみ等について、生徒自ら考えさせる取組はよい。</p> <p>身だしなみは、生徒の多様性と地域や企業等の求める姿の両面から考える必要がある。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・新体力テスト優良校 ・朝食摂取率90%以上 ・健康診断結果による再検査受診率の向上 ・がん教育、学校保健計画への位置づけを実施 	C	C	<p>生徒の健康管理は学校で対応できることは限られるので、保護者の知識習得等が必要と思います。</p> <p>個々の体調管理の意識を高め、感染症を予防し、体力向上へ繋げてほしい。</p> <p>体力向上や健康維持のためにも、朝食摂取率を上げてほしい。</p> <p>再検査受診は今後も呼びかけが必要だが、保護者の意識もあるので、受診率向上は期待できるか疑問である。</p>
エ	魅力ある授業づくりを通し、学習内容の確実な定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の話をよく聞いていると答える生徒100% ・提出物の期限厳守 ・年2回の「授業参観週間」の実施 	B	B	<p>社会人としても自己管理能力は重要な力であり、提出物の期限を守るとは将来にわたり必要な力を育成していると言える。</p> <p>提出物の期限厳守は、企業での仕事の基本である「約束を守ること」に繋がる。</p> <p>授業参観は、教科横断的な視点を持って実施してほしい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用して授業を実施する教職員70%以上 ・半分以上の教科で授業が分かる と答える生徒80%以上 	A	A	<p>授業だけでなく、予習・復習にも積極的なICT活用を期待したい。</p> <p>企業でもICTは必須となっている。先生方の苦労も多いとは思いますが、様々なツールを使用した授業の教材作りを進めてほしい。</p> <p>授業が分かるということは、学校において最も重要な要素。今後もより良い授業を創りだしてほしい。</p> <p>「半分以上」ではなく、「全教科」としてほしい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・就職内定率100% ・大学進学希望者の試験合格率90%以上 ・外部機関模試の活用拡大 ・社会人講話等の 	B	B	<p>就職試験の面接で的確に答えるためには、聞く力も必要</p> <p>引き続きものづくり教育を推進してほしい。</p> <p>進学希望者も増えているので、進学指導のスキルを持った教員の確保も課題だと思います。</p> <p>入学時から積極的なキャリア形成を育む教育</p>

様式第5号

		満足度80%以上			に期待したい。
オ	Society5.0 を生き抜く 人材育成の ための産業 教育を推進 する。	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりに関心があると答える生徒90%以上 技能検定及び国家試験等の受検者数、合格者数の増加 ものづくりに関する各種コンクール、競技会等での上位入賞者数の増加 	A	A	素晴らしい取組の成果であると思います。ものづくりが好きな生徒が沼工に集まるよう、継続的な取組に期待します。工業高校として、ものづくりへの関心の指標を上げてほしい。できるだけ多くの資格を持って社会に出てほしい。社会を生き抜く武器として有効です。競技大会等への参加は、生徒の自信に繋がる。また、中学生等へのプラスの影響が予想される。
		<ul style="list-style-type: none"> 校外での発表、展示会への積極的参加 中学校訪問、ホームページ・SNSの充実等、広報に有効な取組の推進 	A	A	中学生対象の個別相談会は、素晴らしい取組です。中学生にも好評です。少子化が進む中、工業高校への進学生徒を確保するため、小学生等に対するものづくりの機会などがあるとよい。校外での発表は教員にとっても負荷がかかるが、発表することが当たり前となる雰囲気をつくるのが、学校の文化や伝統になるため、継続的な取組をお願いしたい。卒業生は母校を大切に思っている。子供さんを沼工へ入学させようと思うかもしれない。中学校訪問は重要。今後もお願いしたい。
		<ul style="list-style-type: none"> 新学科教育課程の継続検討及び生徒の実情に合わせた教育課程の編成 学科間の連携によるものづくりの推進 	A	A	学科間の連携は、今後のSTEM・STEAM教育としても有効であるため、積極的な展開に期待します。学科間の連携によるものづくりを更に推進し、生徒の協働力を向上させていただきたい。工業高校生に期待する資質・能力を高めるためにも学科間連携を推進してほしい。
カ	活気に溢れ魅力ある学校教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 部活動計画書・報告書の定期的な提出と活動時間および帰宅時刻の徹底 各部の掲げた目標を半数以上の部が達成する。 部活動に意欲的に取り組んでいる生徒の割合80%以上 	B	B	外部人材を活用し、教員の負担軽減を進めてほしい。部活動で生徒が疲れ、それが授業に影響しないようにしていただきたい。夜遅く帰ることが、交通事故につながらないようにしてもらいたい。夜間の自転車は見ていて危険です。

様式第5号

		<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活に満足していると答える生徒90%以上 ・学校が楽しいと答える生徒90%以上 ・学校行事に意欲的に取り組んでいると答える生徒90%以上 	B	B	<p>前向きな生徒の姿が沼工の諸活動の原動力であるため、日々の先生方の指導成果である。工業高校として、様々な活動の中で協働していく必要性を実感してほしい。授業や行事を通して、その関連性を生徒に伝え、学校一丸となる行事をこれからも展開してほしい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・研修・研究の評価実施 ・研究評価大会・外部研究助成への積極的エントリー 	A	A	<p>今後も先生方の積極的な取組に期待します。研究助成や学会発表も生徒と同様に、当たり前となる文化・伝統にしてほしい。実践研究も重要な研究であり、学校現場からの探究が報告されることで新たな知見につながります。教員としての指導力を向上させるのに研修や研究は有効。積極的な取組を望みます。研究助成に応募していく姿勢が大切</p>
キ	<p>教育予算の適正かつ効果的な執行に努め、生徒の学習環境を改善・充実する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育用備品等の整備・充実 	A	A	<p>限られた予算もあると思いますが必要な物の購入はしていただきたい。実習棟や体育館も、生徒の学習環境維持のため、整備・充実できるとよい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な校内安全点検の実施 ・要改善箇所の低減 	A	A	<p>補修箇所がたくさんあると捉えると良いかもしれません。経年劣化は否めませんが、実習棟の老朽化を感じます。耐震的な面からも心配材料です。</p>